



「ぼくの わたしの すきな 本」



こんな本だよ

ふたごでなにからなにまでそっくりでちがうところはまえがみだけのづくり工作が大とくいなマーサとリーサはある日エマという女の子に
あいます。そのあとがんなおばあさんのトミさんにもあいます。そ
のおばあさんは海のちかくにすんでいるのに海がきらいです。そんなお
ばあさんとエマはじつはおばあさんとまごのかんけいでした。ある日二
人をちかづけることがおこります。

この本のこじがすきー！

マーサとリーサが工さくやかたづけでみんなのまわりや心まできれい
にしてくれるところがすき。トミさんのところにおかたづけのてつだい
にいったときトミさんは赤じそジュースをだしてくれておひるにはこは
んもだしてくれてじきにややくしくなっていました。それもすきです。



(出版社:岩崎書店)

本の名前 なまえ

マーサとリーサ
とびぎりの夏の思い出、つくります！

本を書いた人 か

たかおか ゆみこ

おばあさんのお家のおかたづけ、どのような夏の思い出に
なるのかな！ マーサとリーサの、ひまわりのような
明るさにも注目だね。

